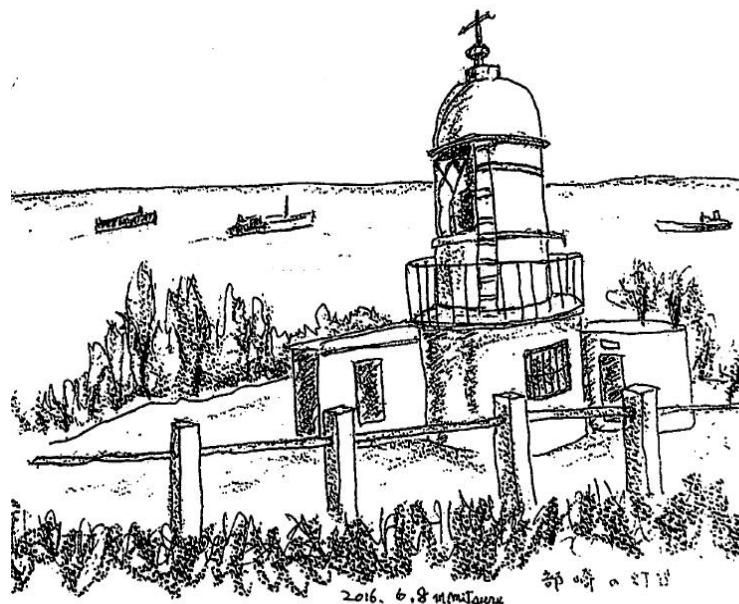


週報2021年5月16日



2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書4章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2021年5月16日

司会・奏楽・メッセージ 山崎銀次郎 牧師
(オンライン礼拝) HP アドレス：<http://jesus.holy.jp/>

祈祷	開会の祈り
信仰告白	使徒信条・標語聖句唱和
賛美	コーラス 26「我らの主に向かって」
祈祷	*今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！*
聖書朗読	使徒の働き 16章 16-31節
説教題	「世の権力に従うか、神の権威に従うか」
祈祷	御言葉の応答の祈り
祈祷	祝福と派遣の祈り

交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに赦し合っていますか
- *互いに祈りあってますか

説教要約

使徒の働き 16 章 16 - 31 節 「世の権力に従うか、神の権威に従うか」

① 神の支配と、権力者の支配

主従関係という観点でこの個所を見る時、三組の主従関係が見えてきます。一組目は女奴隸（若い占いの靈に憑かれた）と主人達、そして二組目はローマ帝国と看守（群衆や長官、囚人達も）そして、主なる神と、主の僕、パウロとシラスです。最初の二組は地上の権力者を主人として、力によって支配されています。彼らは命令を守る事で生活が保障（地位、名譽、金銭）されています。しかし、命令を守らないと、人間として扱われません。

だから、命令を守っていたのです。一つの例を挙げると、命令違反をしたと勘違いした看守（パウロとシラスの見張りをしていて、大地震で彼らが逃げたと思った）は自害しようとしました。当時のローマ帝国の命令違反は死刑だったからです。彼らは自分の保証を得る為、必死にその命令を守っていました。しかしこれは言い換えると、彼らは権力者の力によって支配されていたのです。

② 神の権威下には、本当の自由がある

しかし、パウロとシラスは天の神を主としてあがめ、賛美と祈りの人でした。彼らはいつも愛と平和によっていつも自分たちが守られている事を知っていました。つまり、条件によって守られる保証ではなく一方的な神の愛と恵みによって支えられている人生だという事を信じていたのです。だから彼らは神を礼拝しました。それは真夜中ごろの牢獄でもその姿勢は変わりませんでした。

その賛美と祈りを他の囚人達は聞き入っていました。囚人達が

真夜中頃にもかかわらず、パウロとシラスの賛美と祈りを聞こうとしたのは、そこに本当の自由があったからです。

私達は世の中の定めたルールに理不尽さを感じ憤ります。自由を求めて抗っても、更に生活が苦しくなります。又世の中のルールに妥協して得る満足は一瞬だけで、又虚しくなります。しかし聖書が教えている事は神の愛と恵みによって人は自由にされるという事です。今日の個所が投げかけている質問は、世の権力と神の権威どちらに従うか？です。私達の命は神の愛と慈しみによって守られています。そして神の権威によって解放されます。

③ 真の礼拝者は人を自由にする

最後に、真の礼拝者は自由を与える人に変えられます。パウロとシラスは本当の自由を伝える為、女奴隸の靈をイエスの御名によって解放し、囚人達に真の自由を導き、そして看守に本当の主とは誰かという、福音を伝え歩いたのです。（これが使徒の働きです！！）

私達はイエス様の愛に生きる事を覚悟したその後、圧迫感が襲ってきたり、世の中の閉そく感に疲弊したり、又世の理不尽に泣かされる時があります。しかし大切な事は神の権威に従い抜くという事です。それは言い換えると神の愛と自由の中にとどまるという事です。パウロとシラスは主の僕になる事を選びました。（つまり留まること）それはその姿を通じて、神の福音を一人でも多くの人に伝える為です。神様はその時、慰めを与え、平安を与え、自由を与えられる方です。私達が何度もくぐり抜ける真夜中、信仰生活のチャレンジを神様と共にくぐり抜ける時、その体験は多くの人に対する慰めと希望の証になります。共に主を見上げ前進してまいりましょう。